

(別記様式)

平成31年度 京都府立向日が丘支援学校 学校経営計画 (スクールマネジメントプラン) (**計画段階** ・ 実施段階)

学校経営方針 (中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点 (短期経営目標)
<p>◆教育目標「自分らしく 人とともに 今を生きる力を」の実現に向けた方策を学校経営の中で具現化・具体化し、発信する学校を目指す。</p> <p>◆全ての児童生徒が、社会の中で幸せな人生を実現する力を獲得するために、一人一人の可能性に着目し、徹底して可能性を伸ばす教育を実践する学校を目指す。</p> <p>◆地域社会と連携・協働し、共生社会の形成に積極的に貢献する学校を目指す。</p>	<p>文部科学省「平成30年度特別支援教育に関する実践研究充実事業」指定を受け、事業を活用し、全校での取組を進めた。</p> <p>○学校経営 地域社会の様々な機関と連携した取組の推進や情報発信によって、地域の中の学校として望ましい理解の広がりが見られる。「働き方改革」については、組織的な取組が進められず、課題となっている。</p> <p>○教育活動 新学習指導要領の趣旨を具体化した授業改善を研究協力者、先進校等に学びながら全校で取組を進めてきている。更なる授業改善と地域社会との共有を進める。地域支援については、関係機関との連携が強まる中、多様なニーズに応える相談支援等を更に丁寧に進める必要がある。</p>	<p>文部科学省「平成31年度特別支援教育に関する実践研究充実事業」指定を受け、事業を活用し、以下の重点に全校で取組を進め、事業終了後への継続を視野に一定のまとめを行なう。</p> <p>○学校経営 ①地域社会と協働し、地域社会に貢献する学校経営の推進 ②特別支援学校に勤務する教職員、教育公務員として、指導の専門性に加え、高い危機管理意識・人権意識、社会性、協調性と自己研鑽力及び子どもを愛し、育む情熱をもった人材の育成 ③「働き方改革」の具現化による、一人一人の教職員が、澁刺、颯爽と働く学校経営の推進</p> <p>○教育活動 ①実践研究充実事業に取り組むことから、全ての学級における授業改善、教育課程改善を進める。 ②地域関係機関及び地域社会との協働による教育活動の積極的展開、センター的機能の積極的な発揮により、地域におけるインクルーシブ教育の推進及び共生社会の形成に貢献する。</p>

評価	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織・運営	・学校経営方針を具現化・具体化する、一体感のある学校経営の推進	・学校経営方針を各学部、寄宿舎、各分掌で意識した一貫したマネジメントの実施		
		・学校予算の適切且つ計画的な執行		
		・各学部、各分掌等における業務内容の徹底した精査による総業務量削減 (京都府「教職員の働き方改革実行計画」を踏まえた計画的取組の実施)		
		・各学部と寄宿舎間の日常的な連携強化及び危機対応時の適切な連携		
	・人が育つ研修会等の計画的推進	・本年度の重点の達成及びニーズに基づいた研修会の組織的計画的実施		
		・教職員、保護者の希望進路実現への意識を高める研修会等の実施 (外部人材等を活用した職員研修の計画的実施 1回/年以上)		
		・職員の人権意識、規範意識向上のための研修会の実施		
	・「向日が丘相談・支援センター」の機能を生かした、地域のニーズに応える特別支援教育の推進	・地域の学校等に特別支援教育への理解と対応を実現する特徴ある取組の実施		
		・個別の指導計画等の作成につながる教育相談の実施		
・校内巡回相談員の積極的活用等による組織的な相談支援の実施				
		・幼稚園・保育園、高等学校を含む関係機関等との連携・協働の強化		

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会と協働する学校経営の推進 ・学校評議員、保護者、地域住民等による学校評価を活用した学校経営の改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・HP、学校だより等を活用した学校情報の積極的発信（HP更新5回／月） ・アンケート等による学校の自己評価の実施及び公開（2回／年 以上） ・学校評議員会議の機能を生かした外部評価の実施（3回／年 以上） ・地域社会連携部の機能を生かした地域連携の推進 					
	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全を具体化する取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練、緊急対応訓練の計画的実施（全校年2回以上、寄宿舎年5回以上） ・PTAとの協働による災害発生時マニュアルの作成（1学期中） ・医療的ケア担当者会の機能を活用した安全で適正なケアの実施 ・児童生徒一人一人の人権を大切にする取組の推進（いじめ対策委員会による調査と対応 2回／年） ・教具等の安全点検の組織的な実施 ・ヒヤリハット事象等の即時共有と教訓化 					
	教育課程・学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・社会との協働を大切にした「社会に開かれた教育課程」に基づく実践の積極的展開 ・児童生徒一人一人が共生社会に貢献する力を身に付ける指導の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・学部単位及び全校での授業研究会の実施（目的に応じた外部専門家の活用） ・先進校等への視察派遣による授業改善に生かせる情報収集と学部・全校での情報の共有 ・社会とのつながりを意識した授業実践の積極的展開 ・ICTを活用した授業改善の積極的展開 ・学部間の学びの連続性を意識した教育課程の整理 ・社会に開かれた行事としての「学校祭」の企画実施 ・ニーズに基づく居住地校交流及び学校間交流の計画的な実施 				
		<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の希望進路の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織的計画的な進路指導による高等部3年生全員の希望進路の実現 				
<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員による希望進路の実現に向けた取組の推進 		<ul style="list-style-type: none"> ・組織的な企業開拓の実施 ・全校保護者への進路情報の提供・共有 					
<ul style="list-style-type: none"> ・寄宿舎における指導、支援の充実 		<ul style="list-style-type: none"> ・学部における個別の指導計画等との連動に基づいた指導、支援の充実 					

学校関係者 評価委員会 による評価	
-------------------------	--

次年度に 向けた改善の 方 向 性	
-------------------------	--